



# 蒼天の翼



## Program

- ◆特集 卒業生へのはなむけの言葉
  - ・校長あいさつ
  - ・担任から
  - ・保護者から
- ◆生徒の活動
  - ・産業技術科
  - ・生産技術科
- ◆大会結果報告
- ◆平成26年度卒業表彰
- ◆来年度に向けて
  - ・1、2学年主任あいさつ
- ◆2014千仰祭
- ◆PTA研修旅行
- ◆平成26年度進路決定状況
- ◆PTA会長あいさつ
- ◆顧問会議



## Produced by

PTA調査広報委員会

「蒼天の翼」題字 千葉明美(H25卒業生)

### キクザキイチゲ

本校に咲いていた花の写真。名前の由来は、1本の花茎の茎頂にひとつだけ花をつけるので「一華(いちげ)」で、花被片の数が多くてキクの花のようであるという意味で「菊咲」です。



# 特集 卒業生へのはなむけの言葉

## 常に「前へ」の精神で



校長 入駒 智

保護者の皆様には、日ごろから本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただきまして厚くお礼を申し上げます。

さて、年度末と言えば、スポーツの世界もほぼ一年の活動を終えました。ついこの間まで冬季スポーツが行われてきましたが、ラグビー好きの私にとつては今年も高校、大学、トップリーグとそれぞれの熱い戦いを満喫することが出来ました。そのラグビーの世界では知る人ぞ知る名言があります。それは「前へ」という言葉です。元明治大学ラグビー部監督の北島忠治さんが常々好んで使っていた言葉であり、彼の座右の銘でもあります。

ラグビーはボールを前へ蹴つても良いが、前にパスを投げてはいけないルールになっています。数あるボールを使ったスポーツで前にパスを投げる事ができないのは、ラグビーだけです。単純に考えればパスをすればするほど後ろに下がることになるため、確実にボールを前方へ進めるには、ボールを持つ者が一歩でも前へ前進してから味方につないでいくことが必要になります。相手の密集を避け、素早く横に逃げながら前進するのも作戦ですが、あくまでも相手ゴールに最短距離で行くには「横へ」ではなく「前へ」に北島監督はこだわ

り続けたのです。

「ボールを持つたら躊躇するな。自分の判断に従え。逃げたりためらったりしなければ失敗しても構わない。」これが「前へ」を支える大原則となっているのです。そしてこの大原則は、決してラグビーだけのものではないのです。

北島監督は長年にわたり、ただ監督であつただけではなく、人間としての生き方をラグビーを通して選手たちに教え、心の教育者でもあるのです。彼は「前へ」という言葉を人生に置き換えて使っていました。

つまり、この短い言葉には「最後まで絶対に諦めるな」という意味もあります。仕事や人生において、負けるはずのないときに負けるのは、諦めたとき。だから勝てるはずのないときに勝つたというの、最後まで諦めなかったからだと云います。どんな状況であれ、常に前を向いてひたすら突き進むことを求めています。そして世の中に出て一人立ちするときにも、この「前へ」という言葉が生きてくると信じていたのです。

これからの日本を支えていく前途洋々たる卒業生、在校生の皆さんにも心の片隅にこの言葉をしまっておいてもらえれば幸いです。



三学年長 瀧口 千明

## 二極化の時代

PTAの皆様のご協力により、お預かりした生徒とともに三年間を過ごし、いよいよ卒業を迎えようとしています。三年間、さまざまな所でご協力をいただきました。ありがとうございます。お礼申し上げます。

さて、大学入試試験に向けて、日夜邁進している中、恐縮ですが、今世間を賑わしている話題を一つあげます。近い将来、日本の大学は、産業界からの要望もあり、G(グローバル)型大学とL(ローカル)型大学に振り分けようとしています。たぶんその一環でセンター試験を廃止や大幅改変という動きが出てきているのだと思います。

つまり、少数の世界に通用する研究型大学とその他多数の職業訓練学校に再編するという動きです。「偏差値50以下にはシエークスピア文学は必要ない。簡単な英会話ができればよい。」と有識者会議の中で富山和彦氏は露骨に述べています。もちろん賛否両論あるようです。(私は、いろんなコースがあつて自分で選択できるようにするのがいいと思います。)

この理屈でいうと使える人間と使えない人間を早期に選別し、使えない人間には使える技術を職業訓練として徹底していく。ということになるのでしょうか。

か。ずいぶん乱暴な意見で上から目線なところが感じられます。こうなつてしまつと、一億総中流といわれた日本の国は、インドのカーブスト制みたいに経済的あるいは身分的な格差がますます開いてくる事が予想されます。そして、現在の小中、高等学校の教育の意味合いもだいぶ変わつてしまうことになりそうです。

議論すること自体は否定しませんが、教育の内容についてはもう少し慎重に国民的議論を深めていかないと、大変なことになりそうです。もしかして、知らないうちに我々も誰かの都合のいいように「選別」される怖い時代が近い将来来るのかもしれない。

しかし、現代は生活水準も含め、いろんな意味で二極化が進んでいるのは事実です。グローバル化の影響なのでしょう。私たちは、日本の国のいろいろな面でのレベルを下げないためには、周囲に影響されずに、自分の能力を高め、日夜努力を怠らないようにしなければなりません。近年、周りを見て大きく違わないと安心する傾向がありますが、ますます自分厳しく取り組まなければならない時代になったことを自覚する必要があります。これからの若い人々には、かわいそ

# 担任から



三年A組担任  
吉田 幹雄

入学式で呼名してから早いもので三年が経とうとしています。この三年で生徒は大変な成長を遂げたと思います。進学クラスの生徒は、理科・数学で教科書が変更になった最初の年ということ、受験制度も変わり、先が読めない中で不安を抱えながら最後の一年を過ごしました。しかしながら、受験というものに真剣に向き合った経験は社会人に出るための確実なステップになったはずで、進学する者にとって合格はゴールではなく、新たなスタートでしかありません。新天地でも気を抜くことなく、保護者の期待に応えていってくださることを祈っております。



三年B組担任  
中村 早希

卒業おめでとうございます。入学式が遠い昔のように感じます。それは三年間



三年C組担任  
古玉 聡美

で皆さんが見違えるほど成長したからなのかもしれません。  
三年間、勉強や部活動、行事などを通して様々な経験を積んだことでしょうか。楽しい事だけでなく辛い事もたくさんあったと思います。卒業を迎えた今、振り返ると、困難を乗り越えたことは自信になっているのではないのでしょうか。  
高校三年間で学んだことは計り知れません。人生の基礎になります。自信を持って次のステージに向かってください。

卒業おめでとうございます。高校生活はいかがでしたか？当たり前毎日で、平凡だったかもしれません。私の目から見て、皆さんは輝いていました。そんな一瞬一瞬に立ち会えた自分を幸せに思います。保護者の方々にも感謝申し上げます。これから『人を思いやる事、家族を大切にすること』を忘れないで下さい。十八年間ずっとそばにいた家族は、これからも皆さんを思い続けることでしょうか。たとえどんなに遠くに離れても、幸せになって下さい。



三年D組担任  
田中 謙介

素敵な生徒達と出会わせていただき、本当に感謝しております。  
今があるのは保護者の皆様のおかげです。ありがとうございます。  
私から卒業生に言葉を贈ります。  
失敗する。失敗したとき、これじゃダメだということがわかった。  
それは成功なんです。だから、失敗なんかはないの。  
失敗ってやり直せるの。人生は何回でもやり直せるの。  
失敗はない。挫折もない。挫折してるひまなんかない。  
今すぐにやるんです。  
安心して下さい。あなたには成功できる力があります。  
卒業おめでとうございます。



三年E組担任  
三好 智子

三年の生徒たちと過ごした三年間はとても充実しており、私自身も多くのことを学ぶことができました。卒業の日を迎

えて、うれしさと共に寂しさも感じています。保護者の皆様にも温かく見守っていただき、本当にありがとうございます。これからは就職、進学、自営...それぞれの場所で、それぞれの道を進むこととなりますが、雨にも負けず、風にも負けず、大きく力強く、羽ばたいていくてください。みなさんの活躍と健康、幸せを陰ながら願っています。農場にも遊びに来てください！



三年F組担任  
古舘 武

卒業おめでとうございます。今年も多くの生徒が地元企業や東北電力、ユアテック、NNT・ME、JR東日本など大手の社会インフラに関わる企業へと就職することができました。さらにトヨタ東日本学園にも本校初の合格者を輩出することができました。生徒たちは、将来、必ず地域の産業や生活を支える技術者として活躍することを目指します。これも保護者の皆様から、授業や部活動はもちろん、資格取得についてもご理解とご協力をいただき、生徒が絆を感じて頑張った成果です。本学科が取り組んでいるこのよき伝統を地域の方々にも知っていただけるよう、卒業後も引き続きご協力をお願いいたします。それでは、三年間ありがとうございました。

## 特集 卒業生へのはなむけの言葉



保護者から

一言メッセージ

自信、反省、  
励み、思い出、  
この三年の経験を  
活かして欲しい。

勉学に、クラブ活  
動に明け暮れた毎日。  
大変お世話様  
でした。

三年間ありがとう  
ございました。  
最後の一年はハード  
な年でした。

振り向くな、  
振り向くな、  
後ろに夢は無い!!

卒業おめでとう!  
雲のむこうに  
いつも青空。  
笑顔と感謝を  
忘れずに。

勉強、部活を  
共に過ごした仲間と  
諸先生方に心より  
感謝申し  
上げます。

“雑草のように、  
たくましくあれ、”

頑張れー!!

学校生活で学び  
得た事を糧に自信を  
持って社会へ翔け、  
我が娘。

これからも、あなたを  
応援しています。  
ガンバレ!!

先生ご指導  
ありがとうございました。  
子へ。感謝の心  
忘れず進め!



特集 卒業生へのはなむけの言葉

実り多い三年間、  
一生の大切な財産！  
今度は夢に向かって  
頑張れ！

人それぞれ人生い  
ろいろ自分を信じて  
……未来へ  
出発進行だ!!

多く失敗する人ほど、  
多くを学ぶものです。  
何事も経験。

千厩高校の生産  
技術科で色々と学べ  
た事は娘には一生  
の宝です。

いつの世代も  
Time is money

卒業おめでとう。  
これからは夢に向  
かってはばたいて  
下さい。

卒業おめでとう！  
東北大会  
連れていってくれて  
ありがとう！

突っ走って踏ん  
張ったりと、長い様な  
あっという間の三年  
間でした。

全ての  
先生方と友人に  
感謝しています。  
侘！颯爽と歩きま  
しょう。

無遅刻、無欠席の  
高校生活。  
がんばりました  
ね!!

三年生の皆さん  
ご卒業おめでとう  
ございます。

三年間お世話に  
なりました。

卒業してからは  
一人の社会人として、  
がんばって下さいね。

三年間学んだ  
ことを活かして次へ  
のステップに進んで  
いってほしい。





産業技術科

生徒の活動

全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度

プラチナ特別表彰5名  
ゴールド表彰9名  
シルバー表彰7名 受賞

今年度も2・3年生あわせて16名が受賞しました。本学科では、課外や部活動と両立し、生徒一人ひとりの進路目標に合わせ

表1. H24年度入学 3F表彰状況と取得率

	H24	H25	H26	合計
プラチナ	-	-	5	5
ゴールド	1	4	5	10
シルバー	3	6	2	11
合計	4/30	10/29	13/29	26/29 (受賞数/名)
HR取得率	13.3%	34.5%	44.8%	89.7%

て、入学時から計画的に取り組んでいます。平成24年度入学生の表彰状況と取得率を表1に示します。こうした取り組みを保護者や地域の皆さんにも知っていただき、次年度も応援していただければ幸いです。

プラチナ特別表彰を受賞して

産業技術科 3年 佐藤 佑

(株式会社NTTME内定)

私は、1年生のときから資格取得に挑戦してきました。資格によって受験会場が異なり、本気の大人たちや他校の学生たちに囲まれながら受けるので、その度に違った緊張感を体験しました。この経験を乗り越えることで自分に自信をつけてきました。挑戦してこられたのは、指導してくださった先生方や励ましあった友人たちがいたからです。ありがとうございました。

第一種電気工事士4名合格  
第二種電気工事士13名合格

第一種電気工事士に合格して

産業技術科 3年 湯村 真弥

(東北電力株式会社内定)

私は2年生のときに第二種電気工事士に合格し、同じ年に第一種電気工事士に挑戦して合格点に1問届きませんでした。そのときにあれだけ勉強したのに合格できなかったという悔しい思いをしました。3年生になり、東北電力では部署によっては第一種の資格が必要であることを知り、再び受験することを決意しました。先生方をはじめサポートしてくださった方々への感謝を忘れず、これからも頑張っていきたいです。

第二種電気工事士に合格して

産業技術科 3年 千葉 鉄也

(新日鐵住金株式会社津製鐵所内定)

私は、2回目の受験で第二種電気工事士に合格しました。私が就職する企業では必要な資格ではありませんでしたが、昨年、筆記で1問足らずに落ちたのが悔しかったので受けることにしました。今年は、苦手な計算問題に力を入れて勉強しましたが高得点で合格できなかつたのが残念です。勉強の大切さを改めて知ったので、就職してからも勉強し続けたいと思います。



ジュニアマイスター受賞者



第一種電気工事士合格者



第二種電気工事士合格者

全国高等学校ロボット競技大会  
2年連続出場!!

第22回全国高等学校ロボット競技大会

日時：平成26年11月8日(土)～9日(日)  
会場：セキスイハイムスーパーアリーナ  
(宮城県宮城郡利府町)  
課題研究 「アイデアロボットの製作」  
班6名 青柳健太、阿部大智、及川貴大  
櫻井翔太、佐藤潤也、鈴木貴大



第24回全国産業教育フェア宮城大会において同時開催されました。4月中旬から課題研究で取り組み

み始め、夏休み返上で県大会に備えました。9月下旬に行われた県大会を3位で通過し、当日も勝利の喜びを仲間たちと分かち合いました。

〈大会成績〉  
1回戦 78対50 徳島県立徳島科学技術高等学校  
2回戦 85対106 栃木県立真岡工業高等学校

産業技術科 3年 鈴木 貴大

(株式会社シマ精工内定)

コート作りから始めたのですが、協力して作業することができました。ロボットのアイデアがまとまらず大変でしたが、分担して作ったので完成したときにはとても達成感がありました。ずいぶんと苦労しましたが、自分たちで作ったロボットで全国大会に出場することができて嬉しかったです。お世話になった先生方に感謝しています。後輩たちには、3年連続出場と過去2回全国優勝の古豪復活を期待しています。



生産技術科

生徒の活動



トウモロコシの土寄せ



みんなで作った門松



東京大田市場見学



稲刈り実習



花壇づくり

私は生産科学コースで、農業の大変さや楽しさ、地域の農業の現状などについて学ぶことができました。2年生からは野菜を選択し、播種から収穫までの栽培管理を学び、初めは鋤の使い方もわからなかった私たちですが、今ではすっかり耕せるようになりまし。農家実習や県南家畜市場、大田市場見学など、校外学習も多く、生産者や流通の仕組みについて興味を持って学習できました。大変なこともありましたが、仲間がいたことで楽しく学ぶことができましたと思います。3年間学んだことは将来きつと役立ちます。私は生産技術科に入学して本当に良かったです。農場は素敵な学び舎です。

生産科学コース 3年 菅原 綾

生産技術科で三年間学んで



調理実習



学習成果発表会ランチプレート



かまばた織り研修

私は生活科学コースで、被服製作や調理、看護など多くのことを学びました。特にも印象に残っていることは、家庭科技術検定の三冠取得に挑戦したことです。私は和服、洋服、食物の1級を取得するために、授業だけではなく、放課後や自宅でも一生懸命課題に取り組みました。忙しい中、熱心に私たちに指導してくださった先生方、互いに教え合いながら、一緒に取り組んだクラスメイトに感謝しています。生産技術科には多くの実習があります。人とかわりながら、学ぶことが多く、精神的にも充実していました。私はこの学科で学んだことを糧に、これから社会でも頑張っていきたいです。

生活科学コース 3年 佐々木万智子



ファッションショーフィナーレ



千仰祭ひとときカフェ



# 大会結果報告

## 運動部

### <陸上競技>

- 第65回全国高等学校駅伝競走大会岩手県予選会  
第26位 (32チーム参加)
- 第73回一関・盛岡間駅伝競走大会(日報駅伝)  
第12位 (18チーム参加)
- 第55回10kmロードレース岩手県大会  
女子個人 加藤ひとみ 第6位

### <野球部>

- 第61回春季東北地区高等学校野球岩手県大会一関地区予選  
1回戦 千厩 5-2 一関高専  
2回戦 千厩 0-10 一関第一(7回コールド)  
敗者復活2回戦  
千厩 1-12 一関修紅(5回コールド)
- 第96回全国高等学校野球選手権岩手県大会  
2回戦 千厩 2-14 花巻北(7回コールド)
- 第67回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会一関地区予選  
2回戦 千厩 7-4 花泉  
代表決定戦 千厩 2-5 一関工業  
敗者復活代表決定戦 千厩 5-9 一関学院

### <バスケットボール>

- 平成26年度岩手県新人バスケットボール大会県南地区予選  
男子 千厩 33-81 一関第一  
千厩 64-98 一関修紅  
女子 千厩 28-53 大東  
千厩 32-95 一関第二

### <バレーボール>

- 第62回岩手県高等学校新人バレーボール大会県南地区予選会  
男子 千厩 0-2 一関第一  
千厩 0-2 一関高専  
千厩 2-1 一関工業  
千厩 1-2 大東  
女子 千厩 0-2 一関第一  
千厩 2-0 一関第二  
千厩 0-2 一関修紅  
千厩 2-0 大東

### <卓球>

- 平成26年度岩手県高等学校新人卓球大会県南予選会  
学校対抗  
男子 千厩 2-3 花泉  
女子 千厩 0-3 大東
- 第60回岩手県高等学校新人卓球大会  
学校大会  
男子 千厩 3-0 花巻東  
千厩 2-3 江南義塾  
女子 千厩 3-0 岩手女子  
千厩 1-3 高田
- 第38回岩手県南オープン卓球選手権大会  
女子団体 第3位

### <ソフトテニス>

- 平成26年度県高校新人大会県南地区予選ソフトテニス競技  
男子  
団体戦 Aブロック2位通過  
個人戦  
千葉 裕太(2B) 小松 健人(2A) 優勝  
千葉 拓人(2B) 藤野 研哉(2A) ベスト8  
岸 凌也(1E) 及川 朋也(1E) ベスト8  
女子  
団体戦 Bブロック2位通過  
個人戦 山田 美紗(2B) 金野 愛未(1C)

### ●平成26年度県高校新人大会ソフトテニス競技

- 男子  
個人戦 千葉 裕太(2B) 小松 健人(2A) ベスト16

### <バドミントン>

- 平成26年度岩手県高等学校新人大会バドミントン競技県南地区予選  
男子団体 第2位  
女子団体 第2位  
男子個人  
ダブルス  
伊藤 忍(2F) 関 拓真(1B) 第3位

- シングルス 関 拓真(1B) 第4位  
三浦 悠(2B) 第5位  
小野寺直人(2E) 第5位

### 女子個人

- ダブルス 石川 久愛(2A) 熊谷ほなみ(2B) 第2位  
藤野 朋佳(2C) 三浦 衣織(1A) 第5位  
シングルス 熊谷ほなみ(2B) 第3位  
藤野 朋佳(2C) 第5位

### ●第54回岩手県高等学校新人バドミントン大会

- 男子団体 千厩 3-0 黒沢尻北  
千厩 1-3 花巻北  
女子団体 千厩 3-0 花巻東  
千厩 3-2 久慈  
千厩 0-3 盛岡第三

### <ボクシング>

#### ●第55回岩手県高等学校新人大会ボクシング競技

- 男子1部  
小山 大輔(2C) 第2位  
ライトウェルター級  
菅原 元輝(2F) 第3位  
ウェルター級  
男子2部  
千葉 裕幸(1A) 第3位  
ライト級  
千葉 光(1E) 第2位  
ライトウェルター級  
熊谷 弘貴(1C) ウェルター級 第2位  
女子2部  
鈴木 若菜(1D) ライト級 優勝



### <剣道>

- 第57回岩手県高等学校新人剣道大会  
男子 団体戦 千厩 0-4 盛岡第一  
千厩 0-5 専大北上

### <弓道>

- 岩手県新人大会弓道競技県南地区予選  
女子個人 佐藤 穂波(2C) 白石 唯(1A) 予選通過
- 第33回全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選会  
女子個人 嘉藤 知夏(2C) 12射11中 優勝  
東北選抜大会・全国選抜大会出場
- 第53回岩手県高等学校新人弓道大会  
男子団体 30射11中(18位)  
女子団体 30射10中(16位)



### <ソフトボール>

- 第61回岩手県高等学校新人ソフトボール大会県南地区予選  
千厩 14-1 一関第二  
千厩 4-3 大東  
千厩 2-2 一関第一 第2位
- 第61回岩手県高等学校新人大会ソフトボール競技  
千厩 10-0 盛岡中央  
千厩 9-0 福岡  
千厩 10-0 北上翔南  
千厩 0-6 一関第一 第3位
- 第20回岩手県高等学校新人選抜ソフトボール大会  
千厩 13-4 北上翔南  
千厩 4-2 花巻南  
千厩 1-8 大東 第3位

### <ワンダーフォーゲル>

- 新人戦  
登山競技 三石山綱張コース 第9位(14チーム参加)

### <柔道>

- 第47回岩手県高等学校1・2年体重別柔道選手権大会  
個人戦 千葉 蓮太(1E) 第3位  
立身 美穂(2B) 第2位
- 第59回岩手県高等学校新人柔道大会  
男子団体 千厩 2-3 大槌  
女子団体 千厩 2-1 花泉  
千厩 0-3 一関学院  
男子個人 阿部 洋介(2F) ベスト8  
小松 侑太(2F) ベスト8  
女子個人 立身 美穂(2B) 第3位
- 第37回全国高等学校柔道選手権大会岩手県大会  
男子個人 阿部 洋介(2F) ベスト16  
小松 侑太(2F) ベスト16  
女子個人 立身 美穂(2B) ベスト8

## 文化部

### <書道>

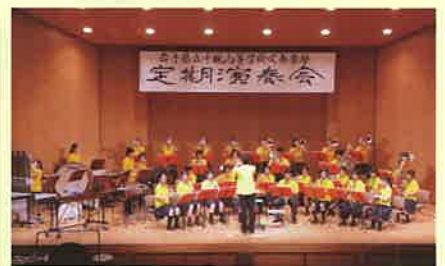
- 第37回岩手県高等学校総合文化祭書道部門  
第1種漢字・仮名 入選  
菅原 綾(3E) 畠山 未歩(3E)  
千葉 麻依(1C) 千葉千愛美(1D)  
第2種漢字・仮名 秀作賞  
藤野明日香(2E) 岩瀬 美久(2E)  
第2種漢字仮名交じり 秀作賞  
藤野明日香(2E) 千葉千愛美(1D)  
第3種象刻 入選 皆川 純也(1E)

### <美術>

- 第37回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展  
絵画部門 1-C 小野寺凌介 入選  
2-D 遠藤 舞 入選

### <吹奏楽>

- 平成26年度全日本アンサンブルコンテスト一関支部大会  
木管7重奏 金賞 管打7重奏 銀賞  
金管3重奏 銀賞



### <写真>

- 第37回岩手県高総文祭 第33回岩手県高等学校写真展  
最優秀賞 2F 二瓶 鈴菜  
優秀賞 2F 二瓶 鈴菜  
入選 3E 千葉 翠
- 岩手県高等学校文化連盟写真専ら門部 夏季写真コンテスト  
入賞 1A 菊池 美紗  
佳作 2E 菅原 七海 3E 千葉 翠
- 岩手県高等学校文化連盟写真専ら門部 スライドフォトコンテスト  
入賞 2E 菅原 七海  
佳作 2F 二瓶 鈴菜 3E 佐藤可奈子
- 第10回高校生フォトコンテスト  
5席 2E 菅原 七海
- 高校生フォトコンテスト2014  
佳作 2F 二瓶 鈴菜

### <箏曲>

- 第37回岩手県高等学校総合文化祭 優秀賞

### <囲碁将棋同好会>

- 第23回岩手県高等学校文化連盟囲碁新人大会  
団体戦5位  
渡邊 諒(2D) 伊藤 一実(2A)  
菊池 凱天(2A)

- 第33回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会  
個人戦C級 伊藤 久晃(1B) 第1位

### <インターアクトクラブ>

- (駅前花壇整備)  
・「小さな親切」実行賞  
(公益社団法人「小さな親切」運動本部)  
・感謝状 (東日本旅客鉄道株式会社)



# 平成26年度卒業表彰

## 1 学校表彰

- ◎皆勤賞(40名) 皆勤賞は、在学期間中欠席、遅刻、早退、欠課が皆無の者
- 普通科(A組) 及川 拳・菊地 綾・佐藤 洸・千葉 誠治 (27名)  
 芳賀 健斗・伊東 美折・小岩 芽生・昆野沙也加  
 金野 文香・高橋 徳実・千田 美咲  
 (B組) 伊藤 祐輔・佐藤 康平・千葉 圭太・佐藤美恵子  
 ・ 香奈・畠山 美香・藤野 千明  
 (C組) 及川 智哉・小山小百合・加藤 日奈・藤野 亮  
 村上 凌理・阿部 美咲  
 (D組) 岩淵 岬・熊谷 望・熊谷 真優  
 生産技術科(E組) 村上 拓巳・佐藤可奈子・三浦 聖美・小野寺侑舞 (10名)  
 菅野 美穂・佐々木万智子・佐藤 里咲・佐藤 理菜  
 三浦 愛・村上妃菜子  
 産業技術科(F組) 小野 裕貴・佐藤 潤也・佐藤 直人・佐藤 大貴 (12名)  
 佐藤 佑・鈴木 貴大・千葉 勇貴・千葉 裕弥  
 畠山 知空・畠山 知希・藤村 樹・湯村 真弥

## ◎部活動奨励賞

部活名	大会名及び業績	クラス・氏名
ソフト ボール部	平成26年度国民体育大会東北ブロック大会兼第41回東北総合体育大会 出場	及川 聖菜(3C) 熊谷 華子(3C) 佐藤 萌(3C) 志田 玲奈(3D) 村上 舞穂(3D)
	第44回東日本高等学校女子ソフトボール大会 第3位	藤野 文香(3A) 藤野 千明(3B) 及川 聖菜(3C) 熊谷 華子(3C) 佐藤 萌(3C) 志田 玲奈(3D) 菅原沙耶加(3D) 村上 舞穂(3D)
箏曲部	第38回全国高等学校総合文化祭 日本音楽部門出場	金野 文香(3A) 千葉 侑貴(3A) 高橋珠利亜(3B) 吉田 結衣(3B) 渡邊 柚生(3D)

コンピュータ 同好会	第22回全国高等学校ロボット競技大会 全国大会出場	及川 貴大(3F) 青柳 健太(3F) 阿部 大智(3F) 櫻井 翔太(3F) 佐藤 潤也(3F) 鈴木 貴大(3F)
農業クラブ	平成26年度専門高校生徒の研究文・作文 全国コンクール 研究文の部 佳作	上野 華奈(3E) 佐藤可奈子(3E) 須藤亜希乃(3E) 藤野 優香(3E) 畠山 未歩(3E) 三浦 聖美(3E) 吉田友貴乃(3E)

## 2 教育関係諸団体表彰

- ◎財団法人産業教育振興中央会長賞 生産技術科 菅原 綾(3E)  
 ◎岩手県産業教育振興会長賞 生産技術科生産科学コース 菊池 茜(3E)  
 生活科学コース 三浦 愛(3E)  
 ◎全国農業高等学校長協会会長賞 生産技術科 佐々木万智子(3E)  
 ◎岩手県学校農業クラブ連盟賞 生産技術科 三浦 聖美(3E)  
 ◎文部科学省認定全国高等学校家庭科技術検定1級(食物・和服・洋服)3種合格 生産技術科 小崎 夏純(3E)・菅野 美穂(3E)  
 佐々木万智子(3E)  
 ◎財団法人産業教育振興中央会長賞 産業技術科 青柳 健太(3F)  
 ◎岩手県産業教育振興会長賞 産業技術科 佐藤 佑(3F)  
 ◎全国情報技術教育研究会生徒表彰 産業技術科 畠山 知希(3F)  
 ◎全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰  
 特別表彰 産業技術科 小野 裕貴(3F)・佐藤 潤也(3F)  
 小野寺智章(3F)・佐藤 佑(3F)・畠山 知希(3F)  
 ゴールド 産業技術科 小野 裕貴(3F)・佐藤 潤也(3F)  
 小野寺智章(3F)・佐藤 佑(3F)・畠山 知希(3F)  
 湯村 真弥(3F)・菊池健太郎(3F)・藤森 樹(3F)  
 佐藤 大貴(3F)  
 シルバー 産業技術科 畠山 知空(3F)・細川 祐太(3F)  
 ◎千厩ロータリークラブ会長賞 小崎 夏純(3E)

## 3 外部団体表彰

来年度に向けて



「自覚」と「誇り」  
一学年長  
川口 潤

高校での新生活がスタートして、一年が経過しようとしています。慣れない環境の中でしたが、生徒一人一人が、自分なりにベストを尽くして好スタートを切ることができたのではないのでしょうか。特に、クラスマッチや合唱コンクールでは、二、三年生に対しても果敢に勝負を挑んでいく姿にたくましさを感じました。その中で、少しづつ「自信」もついてきたと思います。中には、目標が高く、思った結果が得られなかったこともあると思います。そのときは是非「悔しい」という気持ちも大切にしてください。この悔しさを、次への原動力にして、少しづつでも目標に近づいていけば、達成したときの喜びはより大きなものになります。この達成感が更なる「自信」につながり、そして、「誇り」になっていくと思います。

千厩高校生としての「自覚」と「誇り」をもって、今しかできないことに全力で挑戦し、充実した高校生活を送ってほしい、それを最大限バックアップしていきたいと思っています。



「決断」  
二学年長  
小川 賢作

高校生活の二年目も終わろうとするこの時期、これまでの自分を省み、それがどんな感想を持つでしょうか。今、部活動において二年生は堂々主力として活躍しています。生徒会・委員会活動も同様です。下級生は常に先輩の行動を注視しているということを心に留め、日々の学校生活を過ごしてほしい。それがより良い学校を作っていく原動力になります。

今年度の最大の行事であった修学旅行。長い新幹線での移動の後の「瀬戸内海」の風景・金刀比羅宮への参杯(階段七八五段を登りきりました)は多くの生徒の良き思い出になったことと思います。

四月になると三年生。いよいよ自分の進路を決断する時が来ます。本校に入学したのも最終的には自分の「選択」の結果です。少なくとも一回は自分の人生において「自分の決断」というカードを切ったこととなります。これからはさらに将来の進路に向かってさまざまな場面で決断していくことが求められます。そのために学校側でも多くのサポートを行いたいと思います。いたずらに不安にならずに相談してください。入学当初の初心を忘れずに、さまざまな事に精一杯取り組む、進路目標達成をめざして頑張ってください。



# 2014 千仰祭

## 千仰祭の「餅振る舞いイベント」に参加して

千厩ロータリークラブ 岩淵 徳吉

高校生のにぎやかな、売り声が聞こえるなかで、私達も一所懸命 あんこ餅、きな粉餅を皿に盛り付け、来場された皆さんに振る舞う 笑顔がたくさん 喜びがあふれた。餅は生徒が学校実習田で作付けをしたもので、私もご相伴にあずかりましたがおいしい餅で、今年はおつという間に売り切れ、好評でした。

からの嬉しいお誘いがあつたからでした。私たちは千厩高等学校インテークラブを長年支援し、合同でボランティア活動 駅前花壇整備、一日職場体験、ロータリーの翼(米国短期留学)を通じて生徒が社会に出て活躍ができるよう機会を設けておりましたが、なかなか一般の生徒や親御さんには認知されていない状況でしたので、ロータリークラブを知っていただく機会となりました。

これからもこの様に合同でPTAの皆様との活動ができれば幸いです。楽しい時間をありがとうございました。



## 母親委員会

### 「母親委員会として」

母親委員副委員長 千田かおり

今年度の千仰祭での母親委員会の活動は、例年通り、がんばりのお振舞いと作品展示をしました。作品展示は「プラバンアクセサリー」。『プラ版』……あつ！よく子供がやるやつー！の印象があるかと思えます。今回は「大人のプラバンアクセサリー」の本を参考に母親委員で練習会を開いて何点か作品を作り講習会本番に参加者にアドバイス出来るようにしました。講習会に参加した方達は皆さん興味を持っていただけあって次から次へと素敵なアイデアを出し、素晴らしい作品を沢山作っていききました。(当日展示をご覧頂いておわかりかと思えます。)



お振舞いについては、事前に「がんばり講習会」を開き作り方の練習と当日提供する味についての相談。各母親委員と有志の方達と数種類の味のがんづきを作って試食しました。当日は黒糖くるみ、抹茶小豆、チョコレートマーブルの三種類を振舞いました。前日準備当日までお手伝い頂いた皆さん大変ご苦労様でした。

母親委員会としての活動は主に文化祭になりますが、作品展示、お振舞いのがんばり作りにもっと多くの有志の参加をお願いしたいと思えます。文化祭をゆつくりと楽しみたい等の気持ちもあるかと思いますが、前日準備当日と普段見れない子供達の様子が見れたり……結構色々なお感想？がありますよ。来年は是非沢山の方の参加お待ちしております。





# PTA 研修旅行

## 一包入魂

研修委員 及川 忠

PTAの研修旅行が平成二十六年九月二十一日に行われました。行き先は八幡平市荒屋新町商店街です。我が家にとっては最後の研修旅行となりますので夫婦二人で参加させて頂きました。今年は体験型の研修旅行なので色々なコースが盛り沢山でした。①漆工房での絵付け②手前味噌作り③豆乳手打うどん作り④温泉入浴と手打ち蕎麦作り、どのコースにしようか迷いにまよった結果、二つ楽しめる温泉入浴と手打ち蕎麦のコースに決めました。

朝八時、千厩高校集合、当日は爽やかな秋晴れに恵まれ、気分も弾みます。バスガイドさんは今年も指名して来て頂いた同じ方なので、すぐに皆さんと打ち解け、一路八幡平へと向かいました。

移動中の車内では、用意しておいたゲームやクイズをやりながらだったので、意外と早く目的地に着いた

感じがしました。到着すると、各コースの会場ごとにバスから降りるのですが、私の選んだコースの会場は新安比温泉で下車、この参加者は六名です。着くと最初に温泉宿の社長様みずから出迎えて受けました。ここの説明を聞いてから、まずは温泉へ、露天風呂から眺める風景はなんとも言えぬ気分です。

三十分ほどで湯から上がり、いよいよお待ちかねの蕎麦打ち体験です。蕎麦粉と小麦粉の比率は二対八で俗に言われる二八蕎麦です。蕎麦打ち用の大きな鉢に粉を入れ少しづつ水を注しながらこねていきます。十五分ほどで生地が出来上がり、今度は伸ばします。蕎麦打ちの先生のやっている姿を見ると意外と簡単そうに見えましたが、これがなかなか自分でやると上手く伸ばせませんでした。何とか修正してもらい、いよいよ最後の仕上げ、専用の包丁で切り分けます。定規となる板をガイドに切り進みますが、これが一番難しかったです。細く均一に



切り揃える事は到底無理、太さは皆バラバラで個性的です。それでも一丁入魂で切りました。私にとって蕎麦打ちは初めての経験でしたが、とても楽しく、そして奥の深いものだと思います。あつと言う間の二時間が過ぎ、またバスに乗込み昼食会場へ移動です。皆さんそれぞれの体験話で賑やかでした。昼食会場は安比スキー場の脇にあるバーベキューハウスです。大きな皿にどっさり盛られたお肉や野菜、もちろんソフトドリンクやお酒も飲み放題です。とても美味しくて、もうお腹いっぱい頂いてしまいました。帰りの車内でもクイズやビンゴゲームで、ろくに外の景色を見る暇が無かったみたいでした。今回、参加された皆様のおかげで、とても楽しい一日を過ごすことが出来ました。

## 手前味噌作り

研修委員 昆野 由香

今回初めて参加させて頂きました。色々な体験の中から私が選んだのは『手前味噌作り』です。

なぜかと言うと私の家では大豆(ミヤギシロメ)を転作用で作っているのので、味噌作りを勉強して、将来は自分も手前味噌を作れるようになりたいと思います、これに決めました。

講師先生にミヤギシロメが一番味噌に適していると聞いて、ますますはりきってやったものの……。手で豆をつぶすのはとても体力が要りました。でも、自分で作った味噌を食べられるなんて『なんて幸せなんだ!』と思いました。あと半年……? 涼しい所で寝かせています。出来上がりがとても楽しみです!

今回はとても楽しい思いをさせて頂きました。参加して良かったです。バスの中も、とても楽しく過ごさせて頂きました。

是非、来年度も参加したいと思います。

皆さんも一緒に参加して楽しい思い出を作ってみませんか?

行き先は……? 楽しみにしています。

平成26年度進路決定状況(2/16現在)

※就職進学は進学で集計

学科	男女別	進学										就職					自営	その他	総計			
		国公立大	私立大	短大	国公立	私立短大	専修系	医療系	各種	専修	省管轄外	文部科学	小計	受験中	県内	県外				民間	公務員	小計
普通科	計	4	7	1	1	2	10					25	24	7	3	10			10			59
	男女	6	2		11	10	12				41	15	12	8	20			20			76	
	計	10	9	1	12	12	22				66	39	19	11	30			30			135	
生技科	3E		1				1		1		3		4		4			4		1	8	
	男女		1		3	1	8		1		14		9	4	13		2	15		1	31	
	計		2		3	1	9		2		17		13	4	17		2	19		2	39	
産技科	3F	2							2		4	1	11	11	22	1	23				28	
	男女													1	1		1				1	
	計	2							2		4	1	11	12	23	1	24				29	
総計	男女	6	8	1	1	2	11	3	3	32	25	22	14	36	1	37			1		95	
	計	6	3		14	11	20	1	55	15	21	13	34	2	36			1			108	
	計	12	11	1	15	13	31	4	87	40	43	27	70	3	73			2			203	



ご挨拶 PTA会長 千葉 弘之

春まだ浅い今日この頃ではございますが、日ごとにその気配が感じられるようになりまして、卒業を迎えられる生徒をお持ちのご家庭の皆様におかれましては、三年間の高校校生活を終えられ、晴れの門出を迎えられたことに心よりお慶び申し上げます。校長先生はじめ諸先生方には授業はもとより、部活に、課外に、進路指導に、生活指導に、温かいご指導をいただき本当にありがとうございます。

さて、少子化による時代の変化に対応するため、現役世代のみならず歴代のPTA役員さんのご協力をいただき顧問会議を開催しています。ご意見をいただきながら、地域にとって大切な本校を守り育てていきたいと存じます。何卒今後ともご協力をお願い申し上げます。

本会の活動に対してご尽力いただきましたことに感謝し、皆さまのご多幸をお祈りいたしまして御礼のご挨拶いたします。

顧問会議を二回開催!

平成二十六年五月のPTA総会で提案し承認されました「顧問会議」を、九月五日と一月十六日の二回開催しました。

この「顧問会議」は、①今年度からの学級減に伴い、将来展望も含めた多面的なPTA会則の見直しについて検討する、②検討を行うため、現顧問(会長経験者)に加え、副会長経験者にも顧問として協力していただく、③全学年五学級となる平成二十八年度PTA総会までの二年間検討を行う、としたものです。

総会議、会長・副会長経験者二十四名を対象に顧問委嘱をお願いし、十七名が顧問を引き受けてくださいました。

第一回の会議には顧問十一名と現役員三名が出席し、PTA会長からの委嘱状授与のあと、役員選出を行いました。委員長には小野寺勝元会長(室根)、副委員長には吉田仁一元副

会長(室根)、小山浩美元副会長(千厩)が互選されました。その後、事務局から①顧問会議の委嘱内容説明・確認、②任期と今後の日程確認、③他校の会則等の資料説明等を行い、次回までに資料等を各自で確認していただくこととしました。

第二回の会議は新年会も兼ね、顧問・現役員十四名の出席で、フリートークの場として意見交流を行いました。その意見交流では、顧問の方々の千厩高校に対する熱い思いが伝わってくる活気のあるものとなりましたが、その結果として辛口の内容のものが多く出されました。意見として大きな項目だけを挙げますと、①あいさつ(生徒・職員とも)について、②部活動(活動場所・中学との連携・指導と顧問)について、③交流・連携(地域・中学)について、④千厩高校の方向性(進路・職員の意識)について、⑤情報発信(PTA・地域・中学)について、等が出されました。これらについては、学校のみならず、委嘱内容にもあるとおり、私たちPTAが今後、将来を見据えながら関与していく必要があるものであり、次回は年度内に開催し、より創造的な意見交流を行いたいと思っております。



編集後記

子供の成長は本当に早いと感じる今日この頃です。いよいよ東京へ行く日も近くなり、これからは何事も自分でやらなければいけなくなる事を自覚してもらいたいと、親心で厳しい口調になっちゃったことを、いつかわかってくれるかなと思っている所です。

M